

かんてつ 通信 貫徹

9月 定例 議会 報告

No. 49



徹する力。

藤沢市議会議員
おおや 徹

発行日
2021年10月
発行者
藤沢市議会議員
大矢 徹 (おおや とおる)
連絡先
藤沢市鶴沼藤が谷 4-17-5
~302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062
【メール】ohya.toru@gmail.com
ホームページ
<http://www.ohyatoru.com>

皆様へ

9月末で、緊急事態宣言が解除されました。藤沢市の感染状況は8月中旬から末にかけて1日当たりの陽性者が100人を超えるなど、大変な状況でしたが、現在は落ち着いています。ワクチン接種が進み、経済を回していくという中ですが、第6波が来ることも想定されていますので、皆さん、引き続き感染防止をしながら、気を付けて活動を再開していただければと思います。

おおや 徹

9月藤沢市議会定例会が、9月1日から10月7日までの日程で開催されました。

主な内容は、藤沢市スポーツ宣言について、藤沢市市民センター条例の一部改正について、令和3年度藤沢市一般会計補正予算、令和2年度決算認定などです。私は、市側が提案したすべての議案に賛成、決算も認定しました。

【感染症対策】

今議会も、緊急事態宣言中の開催ということで、感染防止対策を実施する中での議会運営となりました。マスクの着用、定期的な換気、半数の議員での審議、答弁する市の理事者側も最低限の出席とし、ソーシャルディスタンスを確保しながらの議会となりました。

主な報告事項等

1. 藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業について (9/3 特別委員会)

南北自由通路拡幅及び、それに伴う駅改良事業の実現に向けて、JR東日本と小田急電鉄及び藤沢市の3者で、平成31年2月27日付で基本協定を締結。協定に基づく基本設計を令和3年3月に完了しました。次のステップとなる詳細設計については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、着手を当初予定より1年先送りし、早期着手に向けた協議を進めています。

事業費については、平成27年度から28年度に実施した調査設計では、全体事業費約310億円、そのうち市負担額は約180億円と試算していましたが、今回完了した基本設計で事業費を試算した結果、総事業費は約335億円、市負担額は約176億円となり、総事業費は調査設計時より約25億円増額したものの、市負担額は約4億円減額となりました。

藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業(予定)

期	工事内容	施工時期
第1期	小田急側自由通路拡幅 小田急藤沢駅改札の橋上化	~令和9年度末
第2期	JR側自由通路拡幅 JR・小田急間の乗換連絡通路整備	第1期完了後~



(北口からJR東日本改札口付近を望む)



(小田急改札口から南口を望む)

整備イメージ

2. プレミアム付商品券事業(第2弾)について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための営業時間の短縮や外出自粛の影響を受けて低迷した市内経済回復のため、消費活性化に有効な商品券事業(電子商品券)を実施します。

実施主体は、藤沢市商店会連合会・藤沢商工会議所・藤沢市観光協会による実行委員会で、額面6,000円(1セット)を5,000円で販売(プレミアム率20%)、30万セットを販売しますが、今回は、感染症拡大防止の徹底のため、申込みはWEBのみで、発行も電子商品券のみを予定しています。販売は、令和3年11月下旬、利用期間は、令和3年12月上旬~令和4年2月末を予定しています。

3. 村岡公民館等再整備事業について

村岡公民館等再整備事業の進捗状況について、諸室等の配置、建物外観等の検討状況が報告されました。

事業費は、基本構想時点で、概算約32~36億円と想定していましたが、現時点においては、約30億円となる見込みで、令和5年度に建設工事着手を予定しています。

村岡公民館配置(予定)

階	施設
1階	公民館事務室、学習室、市民図書室、地域包括支援センター、福祉ボランティアセンター、防災倉庫
2階	体育室、談話室2室、実習室、調理室、和室、子ども室、団体活動室、サークルロッカー室
3階	談話室1室、多目的ホール、音楽室
その他	駐車場32台、駐輪スペース64台、バイク置場17台、消防団第6分団器具置場



村岡公民館整備イメージ

4. バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の導入

藤沢市の指定収集袋はポリエチレンを原料に製造されていますが、国が定めた「プラスチック資源循環戦略」では、焼却せざるを得ないプラスチック製品である指定収集袋等について、植物資源を配合したバイオマスプラスチック等へ変更することを促進しています。本市としても、バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋の導入していくことについて報告されました。

販売価格は現行通りとし、現在、可燃ごみ専用袋(黄色)と可燃ごみ・不燃ごみ共通袋(ピンク色)の2種類がありますが、バイオマスプラスチックを使用した指定収集袋導入の際に、共通袋のみとなります。令和4年4月から販売開始予定で、家庭に残っている旧指定収集袋は、引き続き使用できます(期限なし)。

裏面へ続く

決算討論

令和2年度決算認定にあたり、私が所属する「民主・無所属クラブ」は、賛成の立場で討論をしました。一部を抜粋して紹介します。

1. 新型コロナウイルス感染症関連について

今後第6波の懸念もあることから、引き続き、藤沢市民病院とともに市中の医療機関と緊密に連携し、医療提供体制を確保するよう要望する。あわせて、最前線で奮闘する方々は自らの感染リスクと隣り合わせで、緊張の連続である。医療従事者の感染防止はもちろん、働き過ぎによる「燃え尽き症候群」とならないように、働く方々の心身のケアにも心を配るよう要望する。

2. 保健所の職員体制について

新型コロナウイルス感染症に対応する保健所の職員体制について、9月からの感染状況にあわせて1日最大15人が従事する6班90人の庁内応援体制を構築しているが、応援を出した職場の職員に大きな負担がかかる。将来、新たな感染症の流行へ備えるためには、庁内応援体制という手法ではなく、今回、保健師や看護師を派遣会社と契約したように、必要に応じた外部活用の検討、さらには、有事において凍結する事業をあらかじめ選択しておくなど、保健所職員が過度な負担とならない体制を構築するよう要望する。

3. 産後ケアについて

産後ケアについては、令和3年4月より短時間のデイサービス型から開始した。実施機関の助産院に寄せられた利用者の声を反映し、宿泊型や訪問型といった充実したサービス提供体制の整備に向けて取り組むよう改めて要望する。

4. ケアラー支援について

藤沢市で実施された「ヤングケアラー」調査から5年が経ち、社会的な認知は大きく進み、政府も「骨太の方針」に「ヤングケアラー支援」を位置づけた。その先導的な役割を果たした藤沢市は、いまや「調査」の段階から具体的な「支援」に取り組む段階に入っている。具体的な支援には学校だけではなく、福祉関係者や民生委員・児童委員さんなどの認知を高め、「家族丸ごと」の支援のためのネットワークを作ることが重要である。今後、いっそう「ヤングケアラー」支援に取り組まれるよう要望する。

5. 子どもの貧困対策について

藤沢市が全国に先駆けて創設した給付型奨学金は授業料を支給するだけにとどまらず、中退を防ぎ卒業まで支援する伴走型ということに大きな意義がある。令和2年度末、この奨学金を利用した2名が大学や専門学校を卒業した。これは、困難を抱えた若者たちにロールモデルを提供するという意味でも、非常に大きなことだった。今後とも丁寧寄り添いながら、未来への「希望」につながる奨学金制度として充実するよう要望する。

6. 子どもの受動喫煙対策について

千葉市の調査（児童に対する尿検査）によると、同居家族に喫煙者がいる多くの児童に受動喫煙による数値上の影響が示された。この結果を受け、保護者の意識も変わってきており、喫煙をやめようとするきっかけにつながると考えられる。市としては、千葉市の取り組みを根拠として有効的に活用し、子どもをタバコの煙から守るため、親世代も含めた啓発について、教育部や子ども青少年部との連携はもちろん、市全体での取り組みを進めていくとのことだった。啓発後、保護者へのアンケートなど追跡調査を行い、効果を検証するよう要望する。

7. プラスチック排出抑制について

プラスチック添加剤による有害化学物質の人体への曝露低減と環境汚染への対応、また、温室効果ガスの発生につながる燃やさざるを得ないプラスチックの使用の低減などが求められている。

行政が主体となって、市民や企業、教育分野と連携を図り、プラスチック排出抑制に取り組むよう要望する。また、小さな粒子となったマイクロプラスチックによる海洋の生態系への影響も懸念される。私たちの湘南の海を守るため、マイクロプラスチックの排出抑制にも取り組むよう要望する。

8. ダンボール収集について

コロナ禍での巣ごもり生活など、生活様式が変化中、生活用品等のインターネット通販を通じた自宅配送の需要がこれまで以上に高まっていることから、ダンボールの排出が増加し、高齢者や資源集積所から離れた世帯などは運搬に負担がかかっている。また集積所に積まれたダンボールが崩れるなど交通への影響、市民からの要望が多いことから、戸別収集や毎週収集の検討を要望する。

9. 有機農業について

有機農業の作付面積割合については、国は2050年までに25%とする目標を掲げている。現在、藤沢市は2%程度だが、今後も有機農業の担い手を増やし全体の生産量も増えるように、消費者需要の喚起、消費者への信頼確保など、市民・生産者・行政が一体となり、環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を推し進めていくよう要望する。

10. 学校におけるICT教育について

学校におけるICT教育、オンライン授業については、様々な理由により学校に行くことができない児童生徒にも学びの保障を担保できることが期待されているが、推進体制に課題があることが見えてきた。他市での先進事例を参考に、ICT教育に精通した人材を学校現場に派遣することで、教員のICT教育やオンライン事業における理解とスキルを深める取り組みについて、藤沢市での展開を要望する。

11. スクールロイヤール(※)について

※弁護士資格を持つ職員。2020年11月から教育委員会に配置。

長年現場からの要望が寄せられてきた「スクールロイヤール」の配置には、大きな意味があった。スクールロイヤールの配置の意味は決して「困難な保護者対応」だけでなく、教職員のコンプライアンス(法令遵守)意識を高めることにもある。いじめ防止や体罰、部活動ガイドラインなどについても、法令やガイドラインに従った対応を進めていくよう要望する。

12. 学校施設の活用について

全国的には児童生徒数の減少に伴い、学校にはいわゆる「余裕教室」が生まれ、その転用が課題となっている。しかし、藤沢市はいまだに児童生徒数が増加を続けており、「余裕教室」を前提とした学校利用の余地はほぼない。ただ今後の校舎の改築等に際しては、地域の実情等も踏まえながら、「どのような目的で複合化するのか」という教育議論と、学校施設整備指針などのガイドラインを踏まえた複合化のあり方を検討するよう要望する。

13. 人権問題について

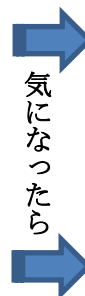
9月27日、東京地方裁判所は、同和地区の地名リストをインターネットに掲載した出版社に対して、それを違法とする判決を下した。インターネット上の差別に対しては迅速にプロバイダーに削除要請を行うなど、市民の人権を守る取り組みを要望する。



らーめんまるとも(サンマーメン)



今回紹介するのは、湘南台の国道467号線沿いにある「ラーメンまるとも」。お店の入口には野菜が売っていて、テレビにも取り上げられたお店です。写真は、野菜がたっぷりのサンマーメン。これからの季節にピッタリです(^_^)



おおや 徹 検索



QRコード

クリック!
お願いします!



議会の情報や私の日々の活動などを掲載しています。
是非見てください!